



2021年最初の八期歴史往来です。

●歴史通信担当 大石より。

新年あけましておめでとうございます。 2021年丑の始まりですね。

〇いっこうに衰えそうにない新型コロナ禍です。

ところで、傘寿(80歳)を越えて仲間の不幸が増えています。

ほんとうに、人生の峠なのでしょうか、身近にいる元気な仲間たちの口からも病院・飲み薬の話は急速に増えてきました。

「あのね、実をいうとね……」の後は決まって、身体のおちこちが痛いところが増えた話や転んで痛みが取れないなどの話ばかりです。

新年早々、2組の西くんも毎朝、冷水シャワーを浴びて、健康保持をしていたらしいけど突然！脳出血を起こしたそうです。

「やりすぎじゃない！」親しい友の声ですが、本当に気を付けましょう……

さて、今年から、3分の2は右の賀状をSNSやメールで送らせて戴きました。

今年も、メールやLINEなどの媒体を通して八期会の皆様と仲良く交流を続けていきたいと思っています。

よろしく願いいたします。 大石

迎春

2020年が無事終り、依然衰えないコロナ禍の新年を迎えました。年賀のご挨拶も迷いましたが願いを込めての新年のお慶びを申し上げます。さて、新春早々お知らせになってしまいました。東京の大学を出ながら妙な縁で故郷へ舞い戻り、長い年月(60年?)天文館に居座り続けてきました。

思い出は沢山ありますが、遺すものと言えば足跡だけの人生でした。いつかは?と、機会を伺っていましたが齢とコロナ禍が後押ししてくれました。…昨年末をもって中町での仕事に別れを告げることにしました。**祝！閉店**…こんな言葉はないかもしれませんが実感！です。これからは妙な縁の本人と共に経理・経営・顧客と離れたのんびりした人生を送りたいと思います。 **2021・丑 元旦**



890-0064

鹿児島市鴨池新町 29-1-14

大石 慶二・通代

〇1月1日 木場さんからのメッセージから…

大石さん

そうそうに 年賀メール 頂き有難うございます。

本年も 何卒宜しくお願い致します。

さて、昨日 連絡いただきました。 超体感！ ニッポン創生神々の道をたどる~出雲・日向ビデオにいらっしゃいましたが 朝から テレビ放送見ました。 新年そうそう 日本 神々が創生したことの話 厳かな気分です 約2時間 過ごしました。 出雲の国は かなり広範囲で八期会の旅行では ほんのちょっとだけ 見た感じでした。 いろんな ところが見れました。

日向 高千穂は 初めてみる景色がうつし出され、神々の日本創生に対し 感謝の気持ちをも持ち続けて いろいろな 行事が続いていることなど 非常に興味深く 見ました。

芸人さんが 出ている 正月番組より 見てよかったです。

メール 情報 送っていただき ありがとうございます。

早々の賀状 拝受 御礼まで

最後に 八期会の皆様 今年も 鹿児島 大石さんの情報発信 期待して コロナウイルスに気を遣いながら 元気に 過ごしましょう！

木場 祥雄

○大石アンサー

今日もBSで『大仏開眼』『大化改新』あります。開眼の方は先日、観ました。

西暦500.600.700年は本当に面白いです。室町時代以降の戦国武将の時代より興味があります。

○大石くん 今年もよろしくお願ひします。八期歴史会の発展を願って頑張ります。た。

4時ごろから子供や孫たちが来ます。

総員で11人になるので、どうするか迷いましたが、決行することにしました。

隈元 達雄

○大石アンサー

いいね！コロナなんか忘れて...会える時に、出来る時に、今、出来ることは、なんでもやりましょう。後悔はもう背中合わせです。

いつも12名ほど集まる家族ですが今年は半分でした。

○西山コメント

明けましておめでとうございます。

大石さんに習って、年賀状を添付いたします。

○隈元クン誕生日の隈元アンサー

ありがとうございます。

今日やっと皆さんに追いつきました。

朝から「南方神社」「八坂神社」「稲荷神社」「春日神社」

「若宮神社」の上町五社を歩いて回りました。

これで4年連続になりました。これまでの年はほとんど人と会いませんでしたが、今年は団体さんや個人がそこそこ出ていました。

昼も夜も食べすぎました。いつもの「やせの大食い」です。

クマモト タツオ

○隈元コメント

先日来、鹿児島西警察署にいる私の姪から頼まれて市来龍作くんをお願いしていた「勝みなみちゃん一日署長」が実現することになりました。

但し、現今の情勢に鑑みて、一般の人は立ち入りお断りということのようです。

古代の地中海東岸フェニキアに、とても美しい女王エウロパがおりました。その評判は天上の神々にも伝わりました。ある春の日、野原で遊んでいるエウロパを見た全知全能の神ゼウスは、その美しさに魅せられた。おとなしそうなので、エウロパはその背中に乗りました。するといきなり駆け出し、いくつも野や山を駆け抜け海を渡り、ある大きな陸地に着くとゼウスは元の姿に戻りエウロパを賛美し思いのたけを伝えました。牡牛は冬の夜空に輝く「おうし座」に、たどり着いた陸地はエウロパの名から「ヨーロッパ」と呼ばれるようになりました。



謹んで新年のご祝詞を申し上げます

令和3年 元旦

113-0024 東京都文京区西片2丁目3番6号

西山和宏・マサ子

TEL 03-3814-0360 FAX 070-2796-4878

e-mail:mfikazu@tkg.att.ne.jp

お母さんと龍作くんしか参加できないようです。

明日の夕方の鹿児島県のテレビ局のニュースを見るようにしましょう。

○ありがとうございます。

クマタツさんの誕生日、

お母さんに、確認して叱られたとか好きこそもの上手なれとか

継続は力なりと言いますが力がなければ継続できない

故に、継続しているということは力があるということです。

期待しております

応援しております。

=====

西山 和宏

○おっしやる通りです。母親にとぼけられて怒られました。図星だったのでしょ。昔は普通にそういうことが行われていたみたいですね。

私の誕生日は昭和 15 年 1 月 5 日です。

1, 5, 1, 5 と調子も良すぎるのをかねて不思議に思っていたのですが、ある時、叔母からあなたの家は「年末に生まれたのを、年明けに生まれたように届けてあるよ」と聞かされて納得しました。

そういう母親は、誕生日が明治 41 年 1 月 11 日でした。(これも怪しい)

弟は 17 年 1 月 2 日です。

しかし、悪いことばかりではありません。

昭和 15 年は 1940 年なので、いろいろな時に計算がしやすく、数学の大嫌いな私も助かっています。

クマモト タツオ

○『米国流通業界 西山レポート』2020 年版届きました。ありがとうございました

こうして 1 年分が冊子で読めると年間の業界の流れが良く分かりますね。

これはこれで流通業界に身を置く人びとにとってありがたい一冊だと思います。

もしかしてハンドメイドでしょうか？濱崎氏も「あやすげどね！オヤ 難しくてようわからんけど べんきよなっどね」と今日電話で話していました。

今、八期 LINE は下池くんと森くんそれに永野和枝さんが三つ巴でバトルをしています。賑やかなものです。

1 月になって西照晃さんの脳出血（左半身不随入院リハビリ中）に長田中 3 年 2 組の佐々木範子（易居町で当時飲み屋？）さんの急死などの連絡がありました。

この 1 年をクリアするとあと 5.6 年は安泰らしいので用心して過ごしましょう。そしてコロナ禍が落ち着いたら上京して皆で会いましょうか。

大石アンサー

○ハンドメイドです。

今回は、流通業界というよりも米国でどのような新型コロナ対策が行われたか、それに引き換え日本の寝ぼけた対応ぶりにはあきれられるばかりです。

新型コロナ関連だけ拾い読みしていただければ十分です。

総理が者会見で読み上げる高級官僚作成の原稿には包括的、総合的、徹底的、全力をあげてなど抽象的な言葉の羅列。

緊急事態というより異常事態。

最もお洒落なマスクをしているのは西村コロナ担当大臣。

PCR 検査をしたがらない陰に何があるのかと不思議に思っています。

米国の医療従事者の約 50% がワクチンの接種を拒否しているそうです。

ワクチンの開発は、本来 10 年くらいかけて行うものだそうです。

免疫学の第一人者と言われる大阪大学の宮坂昌之教授は現時点で、あなたは打つかと問われれば、私は「当面は打たない」と言いますと文藝春秋1月号に書いています。



荒崎干拓地に残る幕末期の島津樋門
＝出水市高尾野町江内

出水筋⑮

かごしま 街道見聞記

桐野 作人

【15】

出水市荒崎干拓地に飛来する一万羽を超す鶴たちは鹿児島冬の風物詩のひとつである。県下でも有数な広さがある出水平野の扇状地西端にある庄、荒崎、古浜、江内の一帯は江戸時代中期の元禄年間(1688～1703年)から干拓事業が

荒崎の広大な干拓事業

始まり、江戸後期にも江内新地、古浜新地などの新田開発が断続的に行われた。

このうち、戦後の干拓を除けば、もともと大規模だったのは幕末期の「荒崎新地」とか「庄瀬新地」と呼ばれる干拓事業で、

現在、鶴たちの一大ねぐらになつているエリアである。ここで新たに開かれた土地は二百町歩余(約2000畝)にも及んだ。この干拓事業がいつ、どのように行われたのか、そのいきつをみてみよう。

薩摩藩では藩財政充実のため、江戸時代の初期から、帖佐、国分、串良、大根占、高山などで大新田開発が行われた。万治二(1659)年から宝永五(1708)年までの半世紀で、四、五万石の新田高の増収があったという(鹿児島県史「一」)。

(1857)年に中村による杭打ちを手始めに、斉彬死後の万延元(1860)年八月から本格着工となった。薩英戦争で一時中断されたが、元治元(1864)年十月から再開され、慶応二(1866)年八月に完工した。十年かけた大工事だったことがわかる。

「庄瀬新田開発記」から工事の様子をみてみると、工事には藩庁から郡奉行の吉田七郎以下、十名の役人が派遣され、受け入れ側の出水郷からも郷士年寄や郷土組頭など郷士の重役たちが郷役としてつとめることになった。

工事には郷士はむろん、百姓や町人など身分を問わず多数動員され、毎日十人ほどが働いた。女性も人夫として参加した。賃金は比較的良好だった。働きのいい男性人夫は日当が280文、女性でも170文の給金を得たという。

また技術者は各地から集められた。石垣積みなどの石工は藩外の肥後や天草から参加した。石工や石切は市来や伊集院、水夫は串木野、長島、黒の浜。石材は串木野や阿久根の大川島などから切り出されたという。

最終的な総工事費は34万5千貫の多額に上った。

この干拓事業は戦後になつても継続されて、西干拓地と東干拓地を合わせて、5000畝以上の広大な耕作地に生まれ変わったのである。(歴史作家)

中村新介が主任となった。同四

主 文 新 報 日 本 新 聞 出 水 筋 ⑮ 荒 崎 の 広 大 な 干 拓 事 業 訪 談 下 野 作 人

米国から輸入したワクチンで健康被害があったら日本政府は責任を負うことになっていますが米国政府はそのようなことはしていません。 =====西山 和宏

○1月11日 大石発信

桐野作人の街道筋出水編は何と15回目です。もうひとつは鹿児島種子島の『馬毛島米軍基地』に関する記事です。問題点が良く分かりやすく解説されている論説と思います。

今年も郷土の歴史物を中心にお届けします。大石

○大石くん 隈元コメント

いつもありがとう。

早速、出水の地図を広げました。(添付)

干拓が行われたのはこの辺りかと思います。

「庄」以外の地名は見つけることが出来ましたが、右端に「出水干拓東工区」もありました。

私の地図では「西工区」は描かれていませんが、私の想像では、長島と結ぶ「黒之瀬戸大橋」の出水側も埋め立てられたのではないのでしょうか。あくまで想像です。正解を教えてください。

その他にも江戸時代から帖佐など埋め立てが始まったとかいてありますが、鹿児島市も市役所前の海岸線などまだ手前にあったようですね。

春日神社も昔は海であって神社には、船着き場であったということが書いてあります。

谷山方面の産業道路など、私たちの年代が物心ついてから埋め立てられた所もありますが、古地図をほとんど持っていないので、詳しいことは知りませんが、鹿児島県も私たちの知らない埋立地が多いのでしょうか。

○森コメント

鹿児島市内の埋立地と言えば昭和40年の正月に与次郎ヶ浜を写した写真ですが、この頃までは漁船の浮かぶのんびりとした風景でした。前方に天保山が見えます。



○ありがとう。

へえそんな頃迄こんな景色でしたか？

鹿児島に戻って中町で美容師人生に入り夢の実現に向けて必死になっていた頃でした。磯も与次郎も遠かった時代...

いい写真をありがとう

○永野和枝コメント

S40年一月与次郎が浜の風景、とても貴重ですね？

40年一月は娘が産まれたときです♡実家が冷水で前の山が城山団地になり、その土は削り与次郎が浜を埋める土になるのだと聞いていました？

それから主人の転勤で鹿児島をはなれて...S53年鹿児島にかえってきたら実家の前は城山団地
与次郎が浜は商業施設になっていました。びっくりしかたでした？

○本当に貴重な写真です。ありがとうございます。

=====

西山 和宏

○船着き場と言えば市役所の前、名山堀には船溜まりのようなものがあったと思う。
名山堀の商店街にはソフト帽子専門のクリーニング屋があってシューと蒸気で形を整えていた。

鴨池小学校・中学校の先に昔の飛行場の埋め立てには勤労奉仕の母親に連れられて行きました。
終戦から5～6年経っても壊れた練習機が複数あり風防の防弾ガラスをかち割ってとり、火を点けると燃えました。

=====西山 和宏

○大石慶二様はじめ、「八期会の皆様へ

明けまして、おめでとうございます。よそ者のみみずくの輩です。
隈元、大石、古市 様などと先年以来、お世話になっています。 今年もよろしく！！
大石様の新聞切り抜き、拝見、新聞でもゆっくり確認しました。

あの出水平野の荒崎田圃は御存じの「鶴」の渡来地であり、荒崎田圃と平野の住宅地が境になっている所に、干拓工事の際に作られた運河や水路が縦横に在り、その近辺には、湧き水を水源とする数個の池・沼が点在しています。

これらあの広い干拓地も新聞にありますように、江戸時代から構築されたのですね？！

出水地方は三方が高い山々に囲まれた平野であり、高い山にしみ込んだ伏流水が、その平野に湧き水となって池・沼を形成しているとのこと。

実は、小生はヘラブナ釣りが趣味ですが、夏場は鶴田ダムや鹿児島空港近くの竹山ダムや、東市来町の山奥の鹿丸湖などが釣り場で、よく通っていますが、毎年12月から翌年3月まではこれらの池や湖の水源は山水であり、水温が零下になるほど冷たくなることで、ヘラブナは深みに降りて、ヘラは水面近くに來なくて、釣りになりません。

そこで、この厳寒時期には、小生などは片道2時間近くの車の走行で、出水平野のその荒崎田圃に点在する池や沼にヘラ君を求めて、でかける事になります。 つまり、湧き水が水源ということは、昔の「井戸」と同じで、冬でも井戸水は10cほどの水温で暖かいですね？1 したがって、ヘラ君達も水温がそれだけあれば、真冬でも動きが活性化しており、餌を食うことで、ヘラファンにとっては、遠い釣り場ですが、出水平野の池・沼まで出かけるのです。

ただ、よい事もあります。 1月も中旬となると、鶴の集団も家族での集団で、シベリアへの「北帰行」の編隊飛行練習

(数羽から10羽程度)の集団で「V」の字になっての連隊飛行訓練の様子が、ヘラ竿を見つめているヘラ師の上空で見られることです。 けなげな鶴たちの懸命な「練習風景」が見られる「釣り」はヘラファンであるからこその特権であり、

味わえる「醍醐味」として、遠方にもかかわらず、毎週のように通う縁ともなっています。

出水の方々から聴きましたが、鶴の生態は、なんでも行動が家族本位であり、いつも家族で集団を形成しているとの事です。

これらの鶴の「連体飛行訓練風景」を竿先に仰ぎ見られる「釣り師」の嬉しさも、寒さをも厭わず、出水まで出かける楽しさも

また格別なモノです。 2021,1,11、 本田 哲郎。

○下池コメント

与次郎ヶ浜は一変し、昔はどこがどこだったか再現が難しいですが、そこに建ったサンロイヤルホテルの眺めは絶景、絶景。写真は朝一番、一昼夜かけて到着した琉球海運船RKKライン、往時は「行屋の浜」と呼ばれた鹿児島港に入港です。今も「行屋馬場」という踏切が残っていますね。ギョヤンババ。琉球役人は今の長田中の敷地にあった「琉球館」に入って執務と生活をしたそうです。

さて与次郎ヶ浜近くには竹迫温泉があり、当主は鹿児島市長になり、引退後の老後は番台に座り、死ぬまでしがみついたという話は有名ですが、男冥利というか、いいですね～。羨ましくない男共いますか？

その温泉にウチの祖祖母は田上の奥から1里の道を毎日歩いて通い、帰ったら（オナゴンよいじ、と云われようと）好きな焼酎をゴイと呑み、そのまま朝までヒン寝り、当時は超長寿の90歳まで生きた、と祖母があきれていました。毎日1万5千歩歩き、良か風呂にユツツライと入って手足を伸ばし、酒を飲んで朝までグッスリ、というのは現代の長寿法と全く同じではありませんか。よし、これは子孫代々ウチの家訓にして、今年から早速実行しましょう。

ではここで、首里のお役人が鹿児島でのお役目を終えて、長田中から首里城まで帰る喜びの道中を歌い上げた「下り口説」という踊りを鑑賞しましょう。右下に出る歌詞を注意深く読んでください。お馴染みの地名がアチコチ出てきますね。「行屋の浜」も。これは400年ぐらい昔の歌ですから、今は現存しない地名もそのまま歌われます。

[下り口説.mpg - YouTube](#)

シモイケ

○琉球の歌と踊り、一度、東京で観たことがあります。実に豪華絢爛なものでした。

でもモノクロも堪能しました。

ありがとうございました。

琉球館が長田の場所にあったとは初耳です。

今日では市内の銭湯はすべてかほとんど温泉だと聞いたことがありますが、幼いとき、鹿児島で 母に連れられて、お弁当を持って温泉に行き2階で食べたような記憶があります。


風呂屋の番台、向こう側が見えにくいように高くなっていました

見惚れて踏みはずと久米の仙人一度座ってみたい場所でした。

=====西山 和宏

○1月12日



お預かりしたスマホ  に LINE グループとともだち設定を終え病院に届けました。ロイヤルで出来なかったのは、本田様のスマホのストレージ（容量）が不足（もともと買った時から少ない）してる為 LINE アプリのダウンロードが出来なかった。

店に戻ってから半分以上削除してやっと入れることが出来ました。

先ほど本田様よりお電話いただきました。

又あの時のタブレット大石さまがお暇な時何とか使えるように見てもらいたいとダメなら捨ててください。との

ことで受付に置いてありました。
中国ブランドなのでちょっと難しいかな？

○皆さんのLINEに、家内が参加しました。
知り合いも少ないし、第一 本人自身こういう形のLINEは初めてで勝手がわかりません。
よろしく引き回してください。
私も、たまには横からチョッカイを出すかもわかりません。 クマモト タツオ

○知った者同士の「おしゃべりルーム」ですよ。みなさん「間違い書き」ごっこみたいです。
もし、ミスを送信した時はその文を軽く押すと「送信取消し」と書いたところがありますのでそこを軽く押すと送った箇所が削除されます。
LINEの初めの頃はなかったのですが。

○1月19日
大石さん
お店営業に終止符を打たれたとのこと拙句を差し上げます
「みち」足りた 大石(意思)固く 店」閉じる

中間

○大石さん ほか 八期会各位
こんにちは
八期メール交信 今年もよろしくお願いします。
西山さん 隈元さん 森さん 永野さん 中間さん 森永さん 最近 下池さん参加
など 興味深く 読ませていただいて 楽しみです。
木場 祥雄
1月20日から メールアドレス 下記の通り 変更しました。 よろしくをお願いします。
メールアドレス:ikomakoba81@gmail.com

From: 大石慶二 [<mailto:kjoishi3@gmail.com>]

Sent: Saturday, January 16, 2021 11:51 AM

To: 中村隆重; 中間一範; 伊地知 龍清; 伊藤 工子; 南郷善之助; 古市庄八郎; 吉田 節; 堀田昌子; 大山寛; 崎元雄厚; 曾根量幸; 木場祥雄; 木場義孝; 柴田英紀; 森 繁; 森永鉄美; 永留弘之; 永野和枝; 海江田 勝; 稲森俊英; 竹下嘉郎; 藤崎宏忠; 西山和宏; 隈元達雄

Subject: 今年 21 年も八期メール交流よろしく

古代から中世への変換期の歴史はほんとうにおもしろいですね🍌古代(古墳から飛鳥)も大陸(主に朝鮮半島だけ)との交流そして大王から天皇へと…調べてみるとロマンあふれるドラマがあります。ちょっと足を踏み出したばかりですが維新前後から昭和へ繋ぐ時代に負けず劣らず楽しい発掘です。こういう世界を彷徨いながらあの世に旅立てればと最近思うことです。
タイミングよく新聞も『遺跡からの警告』第二部「奈良～平安」が始まりました。

もう一件、半藤一利さんが亡くなりました。政治関係の本が多い方でしたが文体が読みやすいので分厚い『昭和史』文庫本は何度もあいだを置いて（今も）読み続けています

○正月3が日、お屠蘇をいただきます

「蘇」という邪鬼を屠（ほふ）て、精気を「蘇（よみがえ））らせるという意味があるようです。

蘇は牛乳と関係が深い阿蘇の蘇も牛と関係がありそう

牛は日本在来の物ではなく朝鮮半島を経て出雲地方へ渡ってきたと、北見先生から伺ったことがあります。屠蘇は1人呑めば一家に病なく一家呑めば一里四方に四方に病なしというワクチンのようなものであったらしい

馬毛島

税金を原資とするお金で住民を翻弄して政策を実行しようとしていることは、今の新型コロナ対策に見られるものである。

馬毛島問題は、やがて騒音問題になると思う地ができなければ、良いと祈るばかりである。

=====西山 和宏

○大石さん

おはようございます。

警告(4) 馬毛島③ 情報 拝受 知事、町長など これから
基地作成議論 どのようになっていくのか？

私は 鹿児島を離れていますので 詳しくことは わかりません。

コメント差し控えたいと思います。

まずは 21 日付け 情報拝受 御礼まで 木場 祥雄

○1月23日

今日は朝から霧雨だったので、グラウンドゴルフも中止でした。

ところで、LINE はお世話になりました。

毎日、見えています。

ちょっと気になるのが本田さんです。まだ不慣れなのでしょうね。

久しぶりにブログ 長崎のことを書きました。 クマモト

<https://plaza.rakuten.co.jp/kumatake123/>

○23日 森発

寒くはなかったけど外にも出られず退屈な1日でしたね。

明日は14時から運転免許実地講習で自動車学校行きです。

終了証をもらったら翌日交通安全センターに行ってきます。

あと2日で期限切れになるころでした。

○森くんは新車の元をとるまできばってください。 クマモト

○大石さん からメールで映像は見られませんが

今日の南日本新聞に次のような記事がありました

西之表市長選 馬毛島巡り一騎打ち 新人福井、現職八板氏が立候補

市議選、14議席に17人

任期満了に伴う西之表市長選挙と市議会議員選挙（定数14）は24日告示された。市長選にはいずれも無所属で、新人で市商工会長の福井清信氏（71）＝自民推薦＝と2期目を目指す現職の八板俊輔氏（67）の2人が立候補し、一騎打ちとなった。

定数2減となる市議選には17人が立候補した。投開票は31日。

政府が同市馬毛島で進める米軍空母艦載機陸上離着陸訓練（FCLP）を含む自衛隊基地整備計画に福井氏は容認、八板氏は反対の立場を表明しており、市民がどちらを信任するかが最大の争点となる。結果が国の安全保障政策に影響を及ぼす可能性もある。

福井氏は政府との交渉で得られた交付金を地域産業振興や子育て世代の支援に生かしたい考えを示す。

八板氏は多くの移住者を受け入れた歴史や豊かな自然を生かし、安心・安全に暮らせる地域づくりを訴える。

市議選立候補者の内訳は現職11、元職1、新人5。党派別では共産2、自民1で、他は無所属。

投票は31日午前7時～午後7時、13投票所（中割、立山は午後6時）であり、8時半から市民会館で即日開票される。当落判明は市長選が午後10時ごろ、市議選が11時すぎになる見込み。

期日前投票は25～30日午前8時半～午後8時、市役所1階市民おきがる一む。

23日現在の選挙人名簿登録者数は1万2704人（男6024人、女6680人）。

前回2017年の投票率は、再選挙となった市長選が1回目77.26%、2回目71.65%。市議選は77.25%だった。=====西山 和宏

○失礼しました。

送信前に急用が発生したので下書き保存して再送信したらトラブルが発生したのでしょうか。それにしても西山くんは郷土紙をネット配信してもらっているのですね。

○27日 大石

相変わらず郷土紙は『馬毛島』でヒートアップしていますが文化面は「細菌古代史」が終わり新たなシリーズが始まったようです。今回もボクが好きな古代史でした。

まだ何もなかった地球という惑星が地殻変動を繰り返して東半球の一部が大陸から離れ細長い島となった。正確には何万年前ともいえない昔、今私たちが縄文時代・弥生時代からやがて九州北部に倭国が成立する過程を、ごくノーマルに、専門家としては何一つアクセントになりそうな持論(キーワード)も加えない書き出しで始まりました。

前シリーズは飛鳥時代(藤原一族)が中心で皆でかつて訪れたせいもあり興味深く読みましたが今シリーズの展開も楽しみです。

現在情報では『馬毛島問題』につきます。近づいている市長選の行方を巡って反対派の肩を持つ南日本郷土紙の報道が気になるところです

○ふるさと便り 配信感謝です。

政治の世界も若返りが急ですね。

戦後の混乱期を知る者も 少なくなりました。

飢えの体験者も少数派 ですね。

もうすぐ春 皆様のご健勝 祈ります。

長崎 諫早 森永

○古代史は女王卑弥呼のことや邪馬台国論争くらいしか知らず、その他の事はほとんど知識がないので今回のシリーズをきっかけに知識を得たいですね。

【1】で早速「日本人」という問題が取り上げられているので、日本人というものの起源を考えるきっかけが与えられた気がします。

もう一つは「米」です。今でこそ休耕田問題や余剰米の問題、米自体が自由販売になるなど、ある意味どうでもいような風に論じられることもありますが、

古代から「米」が最重要なものだったということがわかります。私たちの世代までは、終戦後の事などを知っているので、「米」は重要なものとわかりませんが、

これからの世代の人々にもその重要性を知ってもらうのにも、いい記事だと思うことです。 クマモト

○西山コメント

遊郭のどんちゃん騒ぎが聞こえる夜。翌朝、決まって3機編隊の飛行機が基地から飛び立った。早起きした母

空を仰ぐ。手を合わせ、子どもたちに「拝まんか」〈証言 語り継ぐ戦争〉 ■山内 トヨ子さん(88)霧

島市隼人町姫城

生まれ育った姫城で、美容室を開業して60年余りになる。

小学4年生の時、太平洋戦争が始まった。教室は海軍の兵隊さんに使われ、私たちは農家へ奉仕作業に出向く毎日で、勉強どころじゃなくなった。

1943年、隼人町松永に霧島海軍病院(現霧島市立医師会医療センター)ができた。歩ける患者は日赤の看護婦に連れられ、2列に並んで、家の近くの温泉まで入りにきた。凜(りん)とした白衣姿に、「看護婦さんになりたいなあ」と憧れたものだ。

海軍病院に向かう道路は狭く、拡幅工事のために朝鮮人労働者がやってきた。バラック小屋のようなところに住んでいた。今のように大型機械などない。全て手作業で山を崩し、土をトロッコに盛り、松永まで運ぶ繰り返し。たまに「後ろから加勢して」と頼まれ、子どもながらによいしょよいしょと押していくと、帰り道は空のトロッコに乗せてくれて楽しかった。

ある日、家にいると地震のようなドーンという大きな音がした。飛び出すと、土を採取していた山が崩れ、労働者の1人が生き埋めになっていた。仲間が「アイゴー、アイゴー」と泣きながら助け出したが、それも手で掘るしかなく、結局亡くなってしまった。その出来事があってから、胸が痛んで、もう彼らに近づかなくなってしまった。

当時、日当山には旅館や遊郭があった。そのあたりにぎわいが家にも聞こえてくる夜があった。すると、母が「またどんちゃん騒ぎがあつど。明日は特攻隊がたつのかねえ」と言う。若い兵隊さんのこと。この世の最後と覚悟してのことだったのか。翌朝には決まって3機編隊の飛行機が、海軍航空隊の第一国分基地から飛び立った。

母は早起きして飛行機を仰ぎ、手を合わせ、私たち子どもにも促した。「ぐらしこっじゃっどん(かわいそうだけど)、お国のために行ってくれる。拜まんか」。飛行機は霧島神宮の上をぐるりと回ってお参りしてから南方へ行く、と聞かされていた。

45年8月のある夜。海軍病院で事務をしていた近所の夫婦が「日本は負けたー、負けたー」とぐしゃぐしゃに泣きながら周辺を歩き回った。翌日、玉音放送が流れた。あの夫婦は事前に敗戦を察知し、身の置き所がなかったのだろうか。

学校に行くと、相撲場で兵隊さんが刀を手に暴れていた。とても怖かった。

終戦後は大阪の美容室で修業し、免許を取って6年ほど後に帰ってきた。日当山の美容室で見習いとして働かせてもらった時期はまだ遊郭もあり、夕方になると頭をきれいにする女性たちが来た。美容師の先生との会話が耳に入る。私のような若い娘には聞きづらい話もたくさんあった。

その後、独立。そろそろ引退かとも思うが、昔からのお得意さんたちが顔を出してくれるので、なかなか踏ん切りがつかない。戦争を体験し、ここまで一世(ひとよ)を生きた。「きばらんこて」と言ってもらえる限りは店に立つのかも。=====西山 和宏

○西山さん

この美容師さんは、私たちと7歳違うだけで終戦に至るまでの思い出にも強烈なものがありますね。こういう話こそ、私たちが噛み締めることはことはもちろんのこと、次世代へ、そして更に次の世代へ引き継いでいくべきだと思います。クマモト

○たくさん美容師さんが参集されていたのに驚きました。

先生に人望があったればこそ、3年くらい勤めた人まで参加されたのだろうと思うことです。

このyoutubeを見て思い出したことがあり、97年の手帳を引っ張り出しみました。というのが、私の記憶が正しいならば、この日(3月6日サンロイヤルホテルではなかったですか?)私も別な用事でサンロイヤルホテルに行って受付で大石くんと出会ったのです。その時、大石くんがそのような会だと言っていたのを記憶しています。その日、私は楠声会の一員として「随筆鹿児島100号記念」に呼ばれて3曲ほど記念演奏をしたと手帳に書いてありました。

お互いに 57 歳だったのですね。大石くんのおかげで 97 年の手帳を繰る機会が出来て他にもいろいろなことが書いてあり、懐かしく振り返っています。ありがとう。　クマモト

○電話、谷川の line のやり取りも送ってくれてありがとうございました。

いつも大石大兄には心から感謝、感謝。

鹿児島で君が ine を使えるように仕組んでくれ、懇切丁寧に説明してもらった。

しかし、PC をはじめボタンが3つ以上ある機械・装置は苦手で、不義理の連続で申し訳ない。

古生代のアンモナイトみたいな能力を情けないと思っています。

谷川とコンタクトできました。彼は、八期の line に相談事を持ち掛けたが(君が転送してくれた谷川のメール・line のこと)、

機械に弱いためその気はあるが line を使いこなせなくて残念だと言っていた。

昨年の中ばまで、シエクスピアの同好会をやっていたが、今は何もしていないそうである。

では、また。　崎元雄厚

○1月31日

このメール返信上手いきさうです。

これから崎元コメント(公開可能なら)ぼくが八期 LINE に仲介出来ますね。皆も崎元コメントターの意見を聞きたいでしょうから。　大石

○LINE を見て何が起こったかと心配していました。

詳細はわかりませんが、谷川くんが LINE に投稿してきたことを思えば、快復も近いと思いたいですね。

私も、谷川くんと同じで、LINE を見ても、少しややこしい文章には代筆のため即応できずもどかしい思いをしています。

とにかく、同期生は皆同じような下に置かれていますから、気をつけましょう。

そして、現在闘病中の皆さんの回復を待ちましょう。　クマモト　タツオ